

EM活用した エコクリーニング



福 井 県 敦 賀 市

ホ ワ イ ト ラ ン ド

EM導入の経緯

最初にEMという素材を使うようになったのはお客様でもあった常磐荘(特別養護介護施設)の理事長の紹介でした。あるとき理事長が私の所へ来られて、常磐荘での衣服のクリーニングでEMを使用して綺麗に仕上げられないかとのご相談がありEMWとEM粉石けんをお持ちになりました。その時はじめて私はEMを手に入りました。

『EMで洗濯が出来るなら私の施設のクリーニングはあなたの所に出しますよ』と言われて帰られました。その時私は昔、天然油脂系石けんを使い洗濯した事があって経験的に石けんでの洗濯の難しさを知っていただけにお客様の衣服を洗浄する事に当時は積極的ではありませんでした。しかし大口のお客様でもあったので、商売的に考えるとどうしてもやりたいという気持ちになり、再度チャレンジしようと思前向きな気持ちになりました。これでお客様が喜ぶならと合成洗剤に別れを告げて仕事として使う事になりました。

EMを活用したクリーニングへ挑戦…

最初は方法もわからないまま試験的にEMを使いました。しかし色々試験する内に早い時期に変化が訪れました。それはEM粉石けんとEMWを洗濯槽に入れて洗いをした時にあまり油脂の匂いも少なく、思っていたより綺麗に衣服が仕上がったのでこれならいけると確信できました。またドラムで乾燥をかけた際に通常ならば静電気が起きて衣服がくっつくのですが衣服にさわってもぜんぜん静電気がつきませんでした。また、手がつやつやになってきました。その当初はあまりEMについての知識が浅かったせいもあって「EMってすごいな」という印象が強かったように感じます。しばらくしたある日ふと気がつく排水口のヘドロが消えて跡形がなく

なっているのに気がつきました。そんな中試行錯誤の結果、粉石けんの量を調整してそれ以外にも重曹、クエン酸、EM 液体石けん等配合を変え最終的にまだ試行錯誤は続くのですが、現在は化学物質を一切排除し EM を活用したクリーニングをホワイトランドではおこなっています。

障害者の方を雇用

一般では障害者の方を雇って仕事を覚えさせ、一人前になるまでには難しいと言いますが、私の職場ではそれほど難しいことではなく、全員が障害者で特別扱いをしないし、先輩の仕事をしながら、覚えていきますので時間をかけて慣らしていけば、ちゃんと仕事ができるようになります。少し個性的な人と言うことで理解しているのでそういうハンディがあるからこそ強く頑張れる部分も多いわけです。又、EMを使うようになってから、つねにEMを含んだ湯気を浴びるような環境で働いていますので、風邪をひきにくく仕事でも能率が上がり、全員の体調がよくなり福祉施設からも喜ばれ、これも EM を使用する事によって得られた特徴です。



最近の状況！

最近では、施設関係の衣服クリーニングが主体となり、特養ホーム・障害者施設・授産所・野菜工場等の受け入れがほとんどです。作業もスピーディにクリーニングを仕上げ、清潔感のある状態にしてお客様にお届けできるようになりました。

やり方は当初の頃と基本的に同じですが、手間の短縮を考えると溶けやすい石けんや、単品で使える溶液を探してテストを繰り返している現状です。

お米のとぎ汁 EM 発酵液と EMW をベースに石けん洗剤と一緒に使用することで確実に排水溝がキレイになり、周辺の臭気問題でも効果が出ているように思います。

おかげで現在は個人の衣服が受け入れ出来ないほど忙しい状態で、フル稼働しています。

これからも問題意識を持ち、環境汚染を招かぬよう配慮して、合成洗剤を使わない身体にも環境にもやさしいクリーニングを継続して行きたいと思います。そして EM はそのために重要な資材の一つです。

全国 EM 技術交流会より抜粋引用